

(5-1) 「スポーツ活動の充実」に関する事業

(1) 生涯スポーツの普及と振興

- 5-1-1 市民の誰もが参加でき、地域や年齢層に合ったスポーツの普及
など、生涯スポーツを推進します・・・・・・・・・・72
- 5-1-2 高齢者のスポーツ活動を促進します・・・・・・・・・・73
- 5-1-3 体育協会やスポーツ少年団、認定クラブ、民間スポーツクラブ、
高校、大学スポーツ活動との連携を図り、市民の自主的なスポー
ツ活動への参加を促します・・・・・・・・・・74
- 5-1-4 スポーツに関わりを持つ市民の増加を推進します・・・・・・・・・・75

(2) スポーツ団体の育成

- 5-2-1 研修会や講習会などの開催により、指導者の育成と移動力の向上
を図ります・・・・・・・・・・76
- 5-2-2 競技スポーツの強化のため、選手の発掘や競技力向上に向けた
取組を推進します・・・・・・・・・・77
- 5-2-3 競技団体が主体となる各種のスポーツイベントなど、自主運営に
向けた取組を推進します・・・・・・・・・・78

(3) スポーツ施設の利用促進と整備

- 5-3-1 市スポーツ施設及び学校体育施設の一般開放など、市民に開かれた
施設活用を推進します・・・・・・・・・・79
- 5-3-2 スポーツ施設の有効活用のため、市スポーツ施設、学校体育施設の
計画的な運用を図ります・・・・・・・・・・80
- 5-3-3 スポーツ施設の計画的整備を推進します・・・・・・・・・・81

令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） スポーツ振興課

- 基本目標 5 スポーツ活動の充実
 基本的施策 1 生涯スポーツの普及と振興
 具体的施策 5-1-1 市民の誰もが参加でき、地域や年齢層に合ったスポーツの普及など、生涯スポーツを推進します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・すべての市民が「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに取り組む環境を構築し、「誰もが気軽にスポーツに親しみ、充実したスポーツ活動ができるまち」をめざすため、市スポーツ推進計画を策定
- ・市民の誰もが気軽に参加できるニュースポーツ体験会や、トリプルソフトバレー大会の開催

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康増進及び運動不足の解消につなげる取組を図り、ニュースポーツのトリプルソフトバレー大会に18チーム80名が参加された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに取り組むニュースポーツについての研究も行き、市民が気軽に取り組めるニュースポーツの普及を図る。 ・若年層から高齢者まで性別や障害の有無に関係なく、市民の誰もがいつでもどこでもスポーツに取り組むことのできる環境を推進する必要がある。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4	R5	目標値（R13）
5-1-1	ニュースポーツ体験会の開催数	回/年	9 (R1)	10	11	12
5-1-1	ニュースポーツ大会参加者数	人/年	55	80	90	120

（3）今後の展望

- ・今後も新たに取り組むニュースポーツの研究も行いながら、より多くの市民が気軽にスポーツを楽しめる取組を検討していく。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
A	A		引き続き、多くの市民にスポーツを楽しめる機会を提供する必要があるため。

令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） スポーツ振興課

基本目標 5 スポーツ活動の充実
 基本的施策 1 生涯スポーツの普及と振興
 具体的施策 5-1-2 高齢者のスポーツ活動を促進します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

・年間を通し、市内高齢者を対象とした健康クラブへの講師派遣及び活動の場の提供を行うことで、高齢者の健康維持を図った。

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・高齢者が日常的に体を動かせる場を提供することで、健康増進や仲間同士の交流を図ることができた。	・市民の高齢化の進行と各種スポーツの各団体の会員数等の減少には関連があると想定されるため、高齢者がスポーツに取り組みやすい環境の整備及び高齢者のスポーツ活動を推進していく必要がある。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4	R5	目標値（R13）

（3）今後の展望

・高齢者の運動能力の低下を防ぐため、大学や老人クラブ等とも連携をとりながら、高齢者のスポーツ活動の推進に取り組む

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	B		・各種団体等と連携を取りながら、引き続き、高齢者の健康維持への取組を検討するため。

令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） スポーツ振興課

- 基本目標 5 スポーツ活動の充実
- 基本的施策 1 生涯スポーツの普及と振興
- 具体的施策 5-1-3 体育協会やスポーツ少年団、認定クラブ、民間スポーツクラブ、高校、大学のスポーツ活動との連携を図り、市民の自主的なスポーツ活動への参加を促します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

・情報誌「スポーツガイドののいち」を公共施設等に設置し、スポーツクラブの案内と会員募集、利用施設紹介を行った。また、新たな認定クラブの募集を市ホームページでも行った。

・市民にスポーツやスポーツ団体の活動を周知するため、スポーツ協会やスポーツ少年団の大会結果等、様々な活動を市広報等で情報提供を行った。

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
<p>・情報誌「スポーツガイドののいち」の配布等により、市民に幅広く情報提供を行うことで、新たにスポーツ団体に加入するきっかけを提供し、周知を図ることができた。</p> <p>スポーツ協会（競技団体）32団体（1団体休会中）</p> <p>スポーツ少年団 17団体</p>	<p>・市民の自主的なスポーツ活動の場となる市スポーツクラブの活動を推進し、幅広くスポーツ及びスポーツ団体の情報提供を行う必要がある。</p>

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値 (R2)	R4	R5	目標値 (R13)
5-1-3	市内スポーツクラブの会員数	人/年	916	820	850	1,100
5-1-3	市スポーツ施設利用者数	人/年	389,999 (R1)	327,152	350,000	420,000

（3）今後の展望

・他のスポーツ団体等と連携し、情報誌「スポーツガイドののいち」や市のホームページ等、様々な形で幅広くスポーツ及びスポーツ団体の情報提供を行い、市民のスポーツ活動への参加を促す。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
A	C		<p>・引き続き、各団体と連携を図り、市民に対し情報発信を行うことで、スポーツ活動への参加を促す必要があるため。</p>

令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） スポーツ振興課

基本目標 5 スポーツ活動の充実
 基本的施策 1 生涯スポーツの普及と振興
 具体的施策 5-1-4 スポーツに関わりを持つ市民の増加を促進します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・ ツエーゲン金沢の野々市市ホームタウンサンクスデーにおける、市民の試合観戦の無料招待により、多くの市民にプロスポーツに触れる機会を提供した。
- ・ スポーツ振興くじ助成（助成率：4/5）を活用したスポーツ備品の購入
- ・ 市民体育館にランニングマシン1台を追加で設置し、市民が運動しやすい環境を整えた。

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・ 市民にプロスポーツを観る機会の提供をし、スポーツに関わりを持つ市民の増加を推進した。 （無料招待申込 537人）	・ 市民にプロスポーツを観る機会やプロスポーツ選手と交流する機会を提供することでスポーツに関わりを持つ市民の増加をさらに推進する必要がある。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4	R5	目標値（R13）

（3）今後の展望

- ・ 市民がプロスポーツ等レベルの高いスポーツを観ることで、スポーツへの関心を持ってもらい、スポーツを「する」人に加え、「みる」「ささえる」といった多様な形でスポーツに関わりを持ってもらうよう取り組む必要がある。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		引き続き、プロスポーツ等レベルの高いスポーツを観る機会の提供、またスポーツ備品購入等の環境整備が必要なため

令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） スポーツ振興課

- 基本目標 5 スポーツ活動の充実
 基本的施策 2 スポーツ団体の育成
 具体的施策 5-2-1 研修会や講習会などの開催により、指導者の育成と指導力の向上を図ります

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・北陸地区スポーツ推進委員研修会兼石川県スポーツ推進委員研修会、金沢地区スポーツ推進委員研修会への参加
 （北陸地区 参加者数：15人 オンライン研修）
 （金沢地区 参加者数：5人）
- ・市スポーツ少年団指導者・保護者研修会、リーダー研修会の開催
- ・暑熱対策講座（参加者数：25人）、応急手当講習会の開催（参加者数：20人）

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・スポーツ推進委員、スポーツ少年団の保護者及び団員（リーダー）に向けた各種研修会を開催することでリーダーシップ、指導力の向上を図ることができた。	・指導者が正しくスポーツを指導し、子どもと関わりを持てるよう、プロスポーツチームや企業、大学等と連携した研修会を開催し、指導者の育成を行う必要がある。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4	R5	目標値（R13）
5-2-1	「指導者・保護者研修会」参加数	人/年	65 (R1)	71	75	90
5-2-1	指導者・市民に向けた講習会参加数	人/年	15	49	50	50

（3）今後の展望

- ・スポーツ関係団体、大学、プロスポーツチームと連携し、引き続き指導者の育成と指導力向上及び新たな指導者の発掘を図る。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		引き続き、指導者の育成と指導力向上及び新たな指導者の発掘を図る必要がある。

令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） スポーツ振興課

- 基本目標 5 スポーツ活動の充実
 基本的施策 2 スポーツ団体の育成
 具体的施策 5-2-3 競技団体が主体となる各種のスポーツイベントなど、自主運営に向けた取組を推進します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

・さわやかスポーツフェスティバルの実施（参加者数：1,235人）
 ・スポーツ振興くじ助成（助成率：4/5）を活用した市制施行10周年・第40回野々市じょんからの里マラソン記念大会の実施（参加者数：378人）

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・各団体の自主運営への移行につなげることを目指し、体育協会（令和5年4月1日よりスポーツ協会に変更）やスポーツ少年団と連携し各大会を実施し、各団体の自主運営への移行に向けた取組を推進した。	・今後も各団体が主体となるイベントの企画、運営を促すための事業実施の支援を行う必要がある。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4	R5	目標値（R13）
5-2-3	さわやかスポーツフェスティバルの参加者数	人/年	1,938 (R1)	1,235	1,253 (実績)	3,200
5-2-3	野々市じょんからの里マラソン大会参加者数	人/年	1,012 (R1)	378	1,000	1,400

（3）今後の展望

・令和5年度に、体育協会とスポーツ少年団が統合しスポーツ協会が発足したことによる連携をはじめとし、更なる各団体との連携を図り、団体の事業企画力及び運営力の向上に取り組む。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		今後も各スポーツ団体の自主運営への移行を目指し、取り組む必要があるため。

令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） スポーツ振興課

- 基本目標 5 スポーツ活動の充実
 基本的施策 3 スポーツ施設の利用促進と整備
 具体的施策 5-3-1 市スポーツ施設及び学校体育施設の一般開放など、市民に開かれた施設活用を推進します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・市スポーツ施設の計画的な運用
- ・市民体育館及びスポーツセンターにおける市民のための一般開放の実施
 市民体育館：毎週木曜日 スポーツセンター：毎週金曜日
- ・スポーツランドにおける市民の体力向上及び健康づくりのための無料開放の実施
 スポーツの日（すべての利用者）、毎月第3土曜日・敬老の日（65歳以上）
- ・（新規）市民体育館大体育室（半面）及びスポーツセンターアリーナ（半面）において、子どもが優先して利用できる時間帯（キッズアワー）を設けた。（毎週土曜日午前11時～正午）（利用者数：延べ270人）

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・市スポーツ施設の計画的運用、一部のスポーツ施設で新たに開始したキッズアワー（子ども優先利用時間）の運用により、多くの利用者へのスポーツ施設活用の推進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた施設を最大限に有効活用して利用者数の増加を図るため、市内スポーツ施設を計画的に運用する必要がある。

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4	R5	目標値（R13）
5-3-1	市スポーツ施設利用者数	人/年	389,999 (R1)	327,152	350,000	420,000

（3）今後の展望

- ・多くの市民の利用につながるよう、新規利用者の拡大に向け、より市民ニーズに対応した運用を検討する必要がある。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、新規利用者の拡大に向け取り組む必要がある。

令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） スポーツ振興課

- 基本目標 5 スポーツ活動の充実
 基本的施策 3 スポーツ施設の利用促進と整備
 具体的施策 5-3-2 スポーツ施設の有効利用のため、市スポーツ施設、学校体育施設の計画的な運用を図ります

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・市スポーツ施設及び学校体育施設の計画的な運用
- ・学校体育施設開放運営委員会の開催及び学校体育施設開放指導員との打合せ会の開催
- ・学校施設の安全管理のため、学校体育施設開放指導員を対象とした学校運動場・体育館安全点検研修の開催

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・利用者に施設利用方法を説明する機会を設け、学校体育施設開放の適切な運用を図ることができた。	・限られた施設を有効活用するため、学校体育施設の計画的な運用を図る必要がある。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4	R5	目標値（R13）

（3）今後の展望

- ・スポーツ活動の活性化のため、引き続き、施設の計画的な運用及び利用者への正しい施設利用についての説明を行う。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		引き続き、各施設の計画的運用を行う必要がある。

令和5年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和4年度実施事業分）

（担当課） スポーツ振興課

基本目標 5 スポーツ活動の充実
 基本的施策 3 スポーツ施設の利用促進と整備
 具体的施策 5-3-3 スポーツ施設の計画的整備を推進します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

・「野々市市体育施設整備実施計画」及び「野々市市公共施設個別施設計画」に基づくスポーツ施設の計画的な整備及び改修の実施
 【市民体育館】高圧ケーブル更新工事
 【スポーツランド】テニスコート人工芝修繕 等

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・老朽化した既存のスポーツ施設の適切な維持管理に努め、施設の利用促進を図ることができた。	・現スポーツ施設の維持管理老及び老朽化対策を引き続き行う必要がある。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4	R5	目標値（R13）

（3）今後の展望

・今後も、既存のスポーツ施設の老朽化対策及び新たに整備予定のスポーツ施設において、ユニバーサルデザインの視点から、誰もが利用しやすい施設環境づくりに努める。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		引き続き、スポーツ施設の維持管理及び老朽化対策を行う必要がある。

(5-2) 学識経験者からの意見

市民が高齢になっても引き続きスポーツに取り組むことができる環境づくりは大切なことと考えます。

各地区の老人クラブなど各種団体との連携を大切にしながら高齢者の健康維持のための取組を進めていただきたい。

市民体育館やスポーツセンターにおける市民のための一般開放の実施、スポーツランドの体力向上・健康づくりのための無料開放の実施、キッズアワーの実施などによる新規利用者の拡大に向けた取組は大切なことと考えます。より多くの市民の利用により、スポーツ施設が最大限有効に活用されることが望まれます。

大学と連携した競技力の向上に向けた取組などにより、各競技団体の競技力の向上が図られているとのことで、今後もその成果に期待したい。

県民スポーツ大会への参加競技数の増加を目指すとのことですが、どのような競技があるか市民は周知する必要があると思います。既存の競技でも参加していない競技もあるかと思うので、参加競技数を増やす取組も継続してほしい。

プロスポーツを観戦することで、そのスポーツを「する」「みる」「ささえる」人の意識が高まります。身近で見ることにより、そのスポーツの魅力を「知る」ことができ、「する」「みる」「ささえる」人口も増加が期待されると思います。元気なまちづくりのためにも各種スポーツイベント等の更なる充実に期待します。

コロナ禍の中でも事業に取り組み、幅広い市民が気軽にスポーツに親しみ、充実したスポーツ活動ができる環境づくりができたと感じます。現在、野々市市のニュースポーツは、主としてトリプルバレーをされており、ニュースポーツの体験ができるコーナーの設置等の検討をし、幅広い年齢層が参加できる魅力あるニュースポーツの研究に期待します。

(5-3) 今後の方針

- ① 関係団体と連携し、選手の発掘や競技力向上に向けた取組を行うことにより、県民スポーツ大会の参加競技人口の増加及び競技力の向上を図ります。
- ② 国のスポーツ基本法や市スポーツ推進計画に基づき、スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成やスポーツイベントの充実にに向けた取組を推進します。
- ③ 新たなニュースポーツの研究を行いながら、より多くの市民が気軽にスポーツを楽しむことができる取組を検討します。
- ④ 限られた施設を最大限に有効活用して、新規利用者の拡大に努めます。

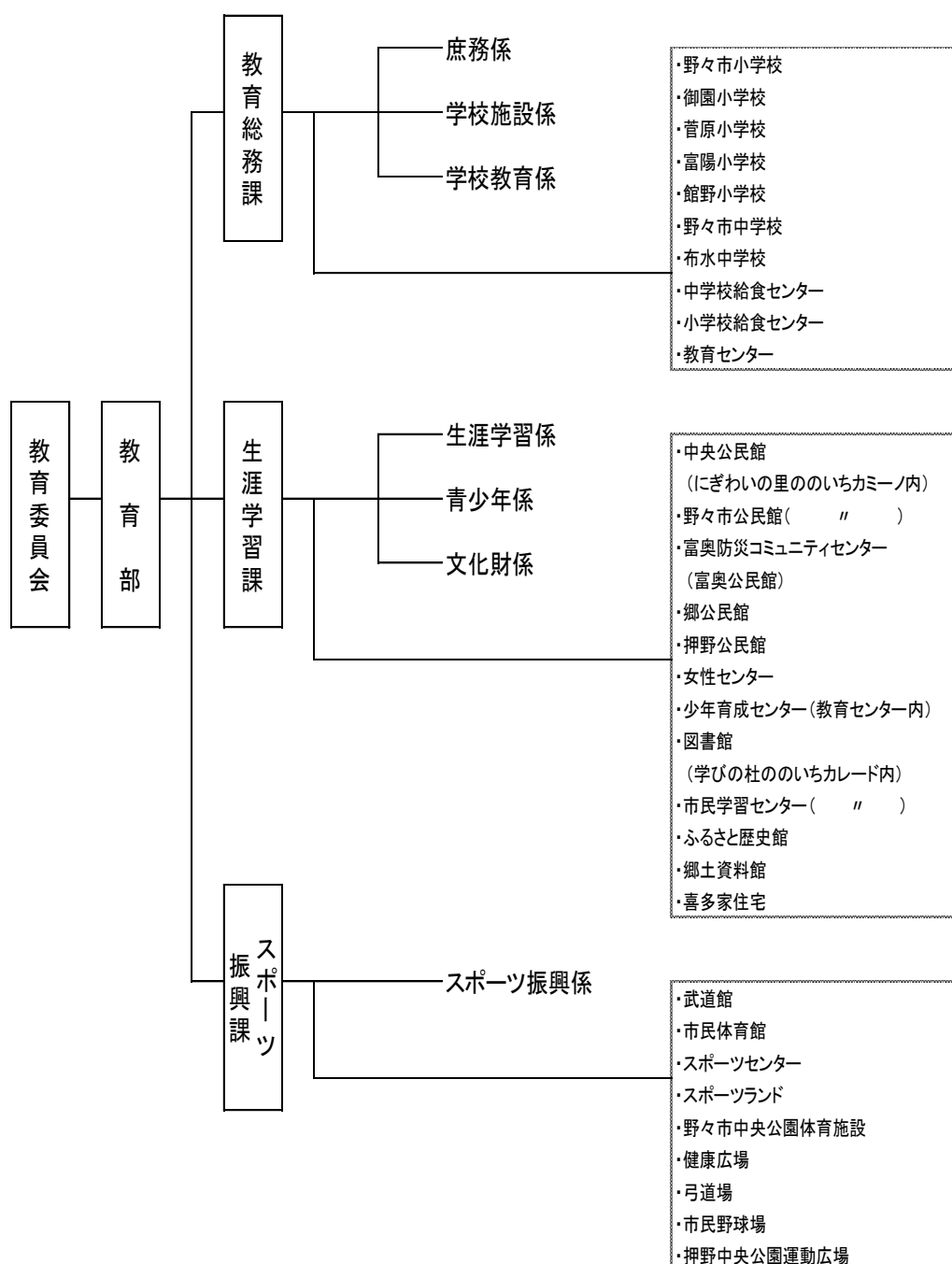
4 参考資料

野々市市教育委員会組織（令和5年4月1日現在）

<教育委員会>

教 育 長	大久保 邦彦	教育長職務代理者	松本 哲幸
委 員	宮川 美保子	委 員	安嶋 是晴
委 員	北村 暁成	委 員	中江 洋美

<教育委員会事務局組織>



お問い合わせ

〒921-8510

石川県野々市市三納一丁目1番地

野々市市教育委員会

TEL(代表) : 227-6111

F A X : 227-6258

Eメール : kyouiku_soumu@city.nonoichi.lg.jp